

滋賀県高P連会報

Mother Lake

母なる湖・琵琶湖。—あづかっているのは、滋賀県です。

〒524-0022 滋賀県守山市守山三丁目12-34
滋賀県立守山中学校・高等学校内
TEL/FAX: 077-599-0506 (事務局専用)
Eメール shiga-koup@river.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.shiga-koup.jimusho.jp/>

滋賀県公立高等学校PTA連合会

三方よし



高P連 会長
前川 久幸
(石山高校 副会長)

日頃は本会の活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

この度、滋賀県公立高等学校PTA連合会の会長を拝命いたしました。どうぞ宜しくお願い致します。

さて、世界を席卷し社会に大きなダメージを与えた新型コロナウイルスの終了がWHOから発表されました(5月5日)。2020年1月末から3年3カ月間のコロナ禍、多くの活動が制限されましたが、学校や職場などにおいて一緒に学び交流することの大切さを実感する機会ともなりました。

そのような中、社会環境は大きく変化しています。成人年齢が18歳に引き下げられた中で高校生が自分の権利や責任を自覚できるか。ChatGPTなどの生成人工知能(AI)の技術革新が進む中で自分自身で考える力や表現する力、判断力を身につけられるか。

こども家庭庁が4月に発足し、

こどもまんなか社会の実現に向けて動き出しました。今後は、子どもの声を聴ける社会、社会全体として子どもの教育・成長を支えることが重要になります。

高P連会長として、三方よし(近江の心・近江商人が遺した理念)を活動のテーマに、子どもたちの声を聴くことを大切に取組んで参りたいと考えています。子どもたちは、自分たちの学びや生活について、様々な思いや希望を持っています。

私たちは、それらを尊重し、理解し、応援することができるとして事務局の力をお借りしながら、各高等学校PTA及び会員の皆様と共に活動を進めて参ります。そして、滋賀の教育大綱の基本目標「未来を拓く心豊かでたくましい人づくり」の一助になれますと幸いです。

最後になりますが、これまで滋賀県高等学校PTA連合会を牽引されてきた皆様に敬意を表するとともに、これからはPTA会員の皆様方のご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

魅力ある高等学校づくりをPTAの皆様とともに



滋賀県教育委員会 教育長
福永 忠克

滋賀県公立高等学校PTA連合会会員の皆様には、日頃からPTA活動をとおして、子どもたちの健やかな成長と本県における教育活動の充実のため、御尽力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

全世界で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は、5月8日から「5類感染症」に移行しました。これまでの長いコロナ禍で子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。このような状況だからこそ、高校生活を充実させ、豊かな心でたくましく、未来を切り開いていく力を育成していくことが重要になってきます。県としても、これからの時代を子どもを真ん中に置き、子どもと共に子どものためにつくり進める県政、教育施策を実施してまいります。

さて、滋賀県教育委員会では今年度の3月に、全県の視野から各県立高校の魅力化の方向性を

示す「滋賀の県立高等学校魅力化プラン」を作成しました。「魅力ある県立高等学校づくり」を本県教育委員会の重要な取組として位置づけ、各県立学校の学びの魅力化・特色化、地域連携の充実、学校間連携の研究などに重点を置き、産業界と連携した人材育成、地域と連携した学科の設置の研究、遠隔授業などの学校間連携の研究などを進めてまいります。

これまでもPTAの皆様には、地域・家庭と学校をつなぐ重要な役割を担っていただけてきましたが、今年度は第48回近畿地区高等学校PTA連合会がこの滋賀で実施されることから、さらなる盛り上がり、ムーブメントにもつながると思っております。引き続き、地域に信頼される魅力ある学校づくりの推進のため、地域の力を生かした活動をお願いするとともに、皆様御自身がPTA活動をとおして、つながりやネットワークを広げ、やりがいや楽しさを感じながら取組を進められますことを御期待申し上げます。

結びに、各校PTA、滋賀県公立高等学校PTA連合会の御発展と、会員の皆様のさらなる御活躍を御祈念申し上げます。

令和4年度

PTA 功 勞 表 彰 受 賞 者 名

(敬称略)

高P連会長表彰状受賞者(39名)

伊香 虎姫 吹原 米原 長濱 河瀬 愛知 彦根 彦根 能登 日野 八日市 八幡 甲西 玉川 信楽 水南 野洲 国際情報 湖南 草津 東大津 瀬田工業(定時制) 瀬田工業 石山 膳所 北大津 安曇川 高島

那田 下村 山北 細川 本原 門西 長沼 寺田 小宮 長部 宮部 和部 川部 蔭山 吉里 石田 宇田 森田 加納 辻真 宮城 吉美 辻和 小島 谷口 太田 西野 西澤(定時制) 山田 大島 渡邊 伊原 伊藤 地村 清水

康禎 貴政 正和 真良 真司 一真 吉晃 寛則 武史 則裕 光浩 孝弘 泰啓 啓介 美和 美子 和孝 和弘 治紀 治子 美和 美子 和孝 和弘 治紀 治子 美和 美子 和孝 和弘 治紀 治子

教育長感謝状受賞者(8名)

長濱北星 彦根翔西館 八幡工業 水口東 守山 草津東 大津商業 堅田

草野 勝見 塩貝 山部 炭谷 戸田 西野 岡田

雅敏 英俊 史人 邦宏 将史 喜久 理恵 考世

令和4年度 高P連広報紙コンクールの選考結果

1. 選考された広報紙

令和5年6月9日(金)開催の高P連第1回評議員会において表彰。



滋賀県立虎姫高等学校 [虎高PTA通信 No.150]



滋賀県立水口高等学校 [碧水 第143号]

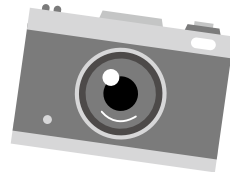


滋賀県立八幡高等学校 [PTA会報 Vol.181]

2. 近畿大会・全国大会について

次の1紙は、近畿地区高P連広報紙コンクールにおいて近畿地区高P連会長賞となり、7月に開催される近畿地区高P連滋賀大会で表彰されます。

最優秀賞……滋賀県立虎姫高等学校 [虎高PTA通信 No.150]



令和5年度 高P連役員等一覧

1 滋賀県高P連理事会役員			
会 長	湖 西	石 山	前 川
副 会 長 (3名)	中 央	八 幡 工 業	辻 美 和 子
	湖 南	玉 川	榎 ひ と み
教 員	湖 北	伊 吹	樋 口 啓 子
理 事 (10名)	湖 東	彦 根 東	堤 昭 彦
	中 央	八 幡 商 業	成 瀬 厚 司
	湖 南	栗 東	小 谷 左 知
		守 山 中・高	前 田 政 子
	湖 西	水 口	三 木 修 平
		大 津	森 田 文 治
教 員	堅 田	上 田 昌 治	
教 員	守 山 北	松 村 友 二	
監 査 委 員 (2名)	湖 北	草 津 東	平 井 忠 美
	湖 東	長 濱 農 業	影 山 雄 喜
		愛 知	青 木 英 樹

2 地区別研修連絡協議会幹事		
湖 北	長 濱 農 業	影 山 雄 喜
湖 東	彦 根 翔 西 館	吉 川 敬 二
中 央	八 幡 工 業	辻 美 和 子
湖 南	甲 西	米 津 智 揮
湖 西	堅 田	上 田 昌 治

3 令和5年度滋賀県公立高等学校PTA会長					
湖 西	高 島	足 立 昌 人	湖 南 中 央	石 部 村 嶋 佳 修 美	
	安 曇 川	杉 浦 寛 之		八 幡 川 部 泰 弘	
	堅 田	上 田 昌 治		八 幡 工 業 辻 美 和 子	
	北 大 津	水 波 陽 子		八 幡 商 業 西 浦 剛 史	
	大 津 商 業	勝 見 順 子		八 日 市 山 本 直 彦	
	大 津	森 田 文 子		八 日 市 南 一 木 和 美	
	膳 所	道 脇 ゆ かり		日 野 石 井 宏 和	
	石 山	濱 野 剛 史		能 登 川 寺 田 岳 史	
	瀬 田 工 業	村 木 正 典		湖 東	彦 根 東 成 瀬 厚 司
	瀬 田 工 業(定)	安 里 恵 美		彦 根 翔 西 館 吉 川 敬 二	
湖 南	東 大 津	谷 口 淳 子	彦 根 工 業 木 戸 絵 理		
	草 津	佐 々 木 真 妙	愛 知 青 木 英 樹		
	草 津 農 業	服 部 弥 生	河 瀬 山 本 喜 彦		
	湖 南 農 業	西 村 政 子	湖 北	長 濱 北 影 山 雄 喜	
	守 山	前 田 政 子	長 濱 農 業 影 山 雄 喜		
	守 山 北	阿 部 百 合 子	長 濱 北 星 春 日 輝 彦		
	栗 東	小 谷 左 知	米 原 久 木 一 弘		
	国 際 情 報	田 中 佐 知 子	伊 吹 堤 昭 彦		
	野 洲	高 三 木 悠 き	湖 東	虎 姫 渡 辺 浩 一	
	水 口	水 口 三 木 修 平	伊 香	那 須 康 一	
甲 南	頓 宮 正 則				
信 楽	奈 良 美				
玉 川	奥 野 由 希 子				
甲 西	米 津 知 揮				

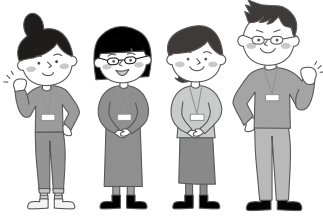
令和5年度 第1回高P連評議員会開催

令和5年6月9日(金)第1回高P連評議員会(総会)が、彦根勤労福祉会館で開催され、各単位PTAより会長と校長が出席されました。

開会行事に続き功労者表彰式が行われ、令和4年度のPTA会長8名に教育長表彰として廣瀬淳子 生涯学習課課長から感謝状と記念品が、39名に連合会長表彰として 炭谷将史 連合会長から表彰状と記念品がそれぞれ贈呈されました。

また、広報紙コンクールの優秀校として、入賞校3校に、炭谷将史 連合会長から表彰状と記念品がそれぞれ贈呈されました。

その後、議事に移り、令和5年度連合会長に 前川久幸 石山高等学校副会長が正式に承認され、すべての議案が原案どおり承認・可決されました。



子どもの笑顔のために

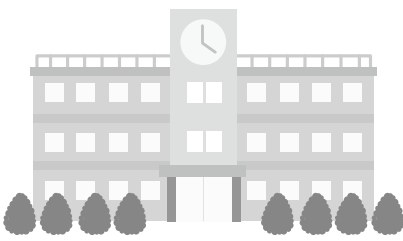


高P連 副会長
辻 美和子
(八幡工業・会長)

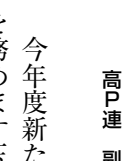
日頃は県高P連活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。本年度副会長を務めます八幡工業高校の辻です。新しい仕事への緊張はありますが、一年を通して色んな場所へ行けること、沢山の人の出られることも楽しみで、自分い何ができるのかを探しながら努力してまいりますのでよろしくお願いたします。さて、コロナ禍をきっかけに世界中で生活様式や働き方改革、学校教育も魅力化プランの取り組みなども始まりました。PTA活動のあり方も時代と共に変化しつつありますが、そのような中で最近の子どもたちを見ていますと、風の時代便利なツールに囲まれた環境の中、想像力にあふれ個性豊かな子が増えたと同時に、コミュニケーション能力の低下や、自己肯定感が低い、感情のコントロールがうまくできない、マスク生活による表情が乏しい、そのような子どもも増えているように思います。子どもだけで

なく私たち大人も目まぐるしく変わる情勢に考えさせられる事が多くストレスを感じることも。PTAとは子どもが学校へ安全に、安心して通い、心も身体も元気に毎日を過ごせるように学校と地域の皆さまと保護者が協力して活動する場所ですが、家庭だけでは解決できない子育ての悩みや学校での子どもたちの様子を共有できる場所だとも思います。子どもたちが明るく元気に笑顔で過ごせるために、私たち大人もしっかり目標を持ち、充実した日々を過ごすことも大切ではないでしょうか。

何よりPTA活動が子どもたちのためにある事を一番に考え、PTA活動がより良い方向に変化していけるよう今後も引き続き、学校、地域の皆さま、保護者さまと一緒に楽しく進められたらと思います。PTA活動が子どもたちの笑顔に繋がりますようにご支援ご協力をお願いいたします。



時代に添ったPTA活動



高P連 副会長
榎 ひとみ
(玉川・副会長)

今年度新たに県高P連副会長を務めます玉川高等学校の榎です。どうぞよろしくお願いたします。5月8日から新型コロナウイルスが2類相当から5類感染症に移行され、学校における活動も、少しずつ制限がゆるやかになり、子ども達の気持ちもずいぶん軽やかになっていく一年になるのではないかと思います。AIやチャットGPTなどのすごいスピードで変わりゆく生活環境や情報過多の中で、物事を正しくとらえ、しっかりと判断できる能力を身につけて欲しいと願っています。PTAの目的は、高校教育の充実を下支えすること。昨今PTA活動に対する考え方がいろいろ議論されてはありますが、より一層議論を重ね時代に添ったより良い活動が進められたらと思っております。親と一緒にいるという安心感を感じられるようなPTA活動でありたいと思います。子ども達の為の活動を進めていくよう、PTA活動へのご支援とご協力をよろしくお願いたします。

これからのPTA活動



高P連 副会長
樋口 啓子
(石山・校長)

本年度、副会長を務めます石山高等学校の樋口です。どうぞよろしくお願いたします。さて、5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが変わったことにより、各校においては様々な活動を再開されていることと思います。本校ではこれまでのPTA活動を見直し、今までの「見守る・支える」PTA活動から「つなげる・つなげる」を目標とした能動的サポートへの転換をテーマに、「子どもへのニーズや学校活動に直接つながる・つなげる」実践を目指して新たな活動に取り組むこととなりました。今年度の近畿地区高等学校PTA連合会滋賀大会は「みんなで考えよう!」PTAのこれから」をテーマに開催されましたが、これからの県内各校のPTA活動が時代のニーズに合った新しい活動となっていくことを願っています。会員の皆様には、今後ともPTA活動へのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年度 高P連 行事予定表

年	月	日	曜日	内 容
5	4	10	月	(P)県PTA会長等代表者研修会(オンデマンド配信)
		17	月	(P)県立高校PTA事務担当者会議(彦根勤労福祉会館)
		29	土	(P)令和4年度県高P連会計監査・第4回理事会(G-NETしが)
	5	13	土	(P)第1回県高P連理事会(G-NETしが)
	6	9	金	(P)第1回県高P連評議員会[総会](彦根勤労福祉会館)
		24	土	(P)全国高P連定時総会(TKPガーデンシティ)
		25	日	(A) 〃 第1回委員会(東京ガーデンパレス)
		30	金	(P)近畿地区高P連総会・専門委員会(草津市:クサツエストピアホテル)
	7	1	土	第48回近畿地区高P連大会滋賀大会(YMITアリーナ(くさつシティアリーナ))
		22	土	(P)第1回近畿地区高P連役員会(京都府:京都ガーデンパレスホテル)
	8	5	土	(P)第2回県高P連本部役員会・理事会(G-NETしが)
		24	木	第72回全国高P連大会宮城大会[分科会](宮城県:カメイアリーナ仙台(仙台市体育館))他
25		金	〃 [全体会](宮城県:同上)	
9	未定		県高P連令和6年度教育予算充実要望(県庁)	
	30	土	(P)全国高P連第1回全国会長・事務局長連絡会(新大阪ブリックビル)	
10	1	日	(P)全国高P連第2回委員会(ホテルマイステイズ新大阪)	
	14	土	(P)第2回近畿地区高P連役員会(京都府:京都ガーデンパレスホテル)	
11	3	金	第67回滋賀県人権教育研究大会[全大会](滋賀県立文化産業会館)	
	4	土	〃 [分科会](米原市内各会場)	
	7	火	(P)第2回県高P連評議員会[研修会](彦根勤労福祉会館)	
6	1	13	土	(P)県高P連総務委員会、第3回県高P連本部役員会・理事会(G-NETしが)
	2	3	土	(P)全国高P連第2回全国会長・事務局長研修会(東京大学:伊藤謝恩ホール)
	3	2	土	(P)第3回近畿地区高P連役員会(京都府:京都ガーデンパレスホテル)

令和5年度 高P連事業の重点目標

1. PTA会員相互の親睦を深め、情報交換を図るとともに各種の研修に取り組む。
2. 関係機関との連携を図り、高校生の健全育成と自立性を育てることに努める。
3. 教育環境の整備を進め、高等学校教育の充実発展に寄与する。
4. 人権教育の充実を図るとともに、各種の大会に参加して発表する。
5. 高校生活の安全・安心を目的とし、次の各種補償制度等を充実する。

滋賀県高P連の現状

令和5年度……県立高等学校45校が加盟

令和5年5月1日現在(各単位PTAからの報告による集計)

高P連加盟校	学校数 ②	在籍生徒数	PTA会員数 ③	PTA会員数の内数	
				教職員数	保護者数
全日制高校	44	27,098	29,264	2,117	27,147
県立中学校	3	717			
定時制高校 ①	4	288	343	63	280
合計		28,103	29,607	2,180	27,427

- ①定時制高校……瀬田工業高校(定時制)は定時制独立校とする。
- ②学 校 数……45校【全日制高校44校と定時制独立校1校】
- ③PTA会員数……県立中学校は全日制高校に含む。

全国高P連の現状

全国50団体(47都道府県+1市)の高P連で組織

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
加盟生徒数	2,148	2,077	2,003	1,944
加盟校数	148	147	143	144
加盟生徒数	1,571	1,666	1,154	878
加盟校数	45	45	43	44

令和5年度 高P連大会日程

- (1) 第48回近畿(滋賀)大会
 - ・日程 令和5年7月1日(土)
 - ・会場 YMITアリーナ
- (2) 第72回全国(宮城)大会
 - ・日程 令和5年8月24日(木)
 - ・会場 カメイアリーナ他

編集後記

新型コロナウイルスも、ようやく収まり、以前のような日常生活が戻ってまいりましたことをうれしく思います。

そのような中、令和5年度の新しい理事会役員が選任され、今年度の高P連がスタートしました。また、7月1日には近畿大会滋賀大会が開催され、近畿地区より多くのPTA会員の皆様に参加されました。開催にあたりましては多くの方々にお世話になりました。

改めてお礼を申し上げます。ありがとうございます。

また、会員の皆様には、今年度も何かとお世話になりますが、どうぞよろしくお願います。

高P連事務局